



INTERVIEW

CSR活動でファンづくり

白井グループ株式会社
社長 白井徹さん

東京都生まれ。03年4月、白井グループ代表取締役役に就任。廃棄物ビジネスのかたわら、週2回の波乗りを欠かさないサーファー・経営者。



「廃棄物を生かす力」という理念のもと、環境配慮型の廃棄物事業を営む白井グループ。東京を拠点に「都市の環境インフラ企業」として展開しています。

廃棄物の回収、リユース買い取りはもちろん、廃棄物から自然エネルギー化までのトータルプランニングを通して多くの企業の環境経営をサポートしています。

白井グループの白井徹社長は、CSR活動を「ファンづくり」の活動として力を入れていきます。

例えば、地域の小学校で開催する環境授業や資源ごみ・粗大ごみの現金買い取りイベント、環境活動に取り組むN

PO団体の支援など、さまざまなステークホルダーとの繋がりを強めています。

また、海外の発展途上地域からの視察研修や各国の学生インターンを積極的に受け入れることで、地域密着型のビジネスでありながらグローバルな視野をもち、全世界にファンを増やしています。

白井グループには、「環境ビジネスの愛嬌者」というコンセプトがあります。

社員一人ひとりが「人に地域に環境にやさしい」グリーンな視点を持ち、好奇心とユーモアあふれる心で新しい発想で環境保護活動の推進に関わっています。

自然と触れ合いながら社員

全員が参加する場を設けることで、五感が磨かれると同時に、人間力の醸成にも効果があるそうです。

白井社長は「まずは閉塞された日本の廃棄物市場を壊さなくてはグローバルな成長はない」と語ります。

挑戦を楽しむ社員と一体となってグローバルに展開する白井グループは、環境ビジネスのリーディングカンパニーとしてイノベーションを巻き起こしながら持続的に成長しています。

聞き手 金野美香

住所：東京都千代田区神田淡路町一丁目2番地

URL: www.shirai-g.co.jp

電話：03-6811-7011

✉ ソーシャル時代を生き抜くための企業向け小冊子

このたびは有限会社人事・労務では、小冊子『ソーシャル時代の会社ルールのつくり方』を発売致しました。

震災ボランティアや脱原発デモなど、ソーシャルメディアが起点の新しいムーブメントが注目されています。

しかし、企業では、機密情報の漏えいや、雇用されない働き方、NPOに所属する社員、社内の同僚や上司への誹謗中傷の拡散など、多くの問題も出てきています。

ソーシャル時代を生き抜く会社が、これからの企業ブランドを考える上で、新たな社内ルールを変更する意義はプラスの側面を持っています。

その一方で、コンプライアンスやリスクマネジメントでは、マイナスとなり得る一面を持っていることを示しています。

これまでの社会とは違い、社員一人ひとりが社会に対して持つ影響力が増えたので、企業も新しい社会に適応したルールを持たなければ、この時代を乗り切れることはできません。

有限会社人事・労務では、新しい時代の流れの中で、社員の自律性を高めイノベーションを巻き起こす人財を育む組織をつくるための小冊子を配布しています。

これからのソーシャル時代を生き残るためにも是非ご参考頂ければと思います。

URL: www.cf-jinji-roumu.com/sashi_way.html

※詳細はホームページをご覧ください

